

きほく人奮闘記



きほくたいきょうりくじょうぶ
鬼北体協陸上部

「第69回愛媛駅伝競走」の予選会を兼ねて、11月4日に伊予市で開催された「第22回しおさいクリテリウム駅伝大会」。この大会に出場した鬼北体協陸上部が見事予選を通過し、12月16日に開催される愛媛駅伝への出場権を獲得しました。

今回の大会を振り返り、「自分より速い人と一緒に走って、自らを奮起させる良い刺激になった」と話す選手の竹本敬三さん。無事、愛媛駅伝出場が決まり、安堵の表情を浮かべます。ハイレベルな戦いとなる愛媛駅伝では、「選手全員がベストを尽くして完走したい」と意気込んでいました。

「愛媛駅伝」の出場と、「愛媛クラブ対抗駅伝」での上位完走を目指に、監

督や顧問のアドバイスを受けながら、現在15人で活動している当陸上部。月1回開催している、3kmと5kmのタイムを計測する記録会では、近隣市町の体育協会の会員や地元の中学生も参加。「毎回、ほとんどのメンバーが自己ベストを更新しているので嬉しい」と、竹本さんは切磋琢磨し合えるチームワークの良さを笑顔で話していました。

駅伝の魅力について、「仲間を信じ、自分を信じて、たすきをつなぐこと」と話す竹本さん。「今回の大会においても、仲間の存在が大きな力になった」と、優しく微笑みます。「男性女性、年齢問わず、興味のある方はぜひ一度、私たちと一緒に走ってみませんか」と、その楽しさをPRしていました。



▲今回お話を伺った
選手の竹本敬三さん

鬼王丸
ほのぼの日記
作 絵 桧形 浩人
にのみや なつみ



人口と

10/31現在

世帯数

人口	10,408人
男性	4,870人
女性	5,538人
世帯数	5,066世帯

※外国人住民を含みます。

編集後記

▼2年越しの開催となつた鬼北町の一大のイベント「でちこんか」。昨年、台風で中止を余儀なくされた雪辱を晴らすかのように、当日は秋晴れの一日となりました。あちらこちらで聞こえる来場者の皆さんのが笑い声。そんな楽しそうな姿を見ると、「今年は開催できて良かった」と思えばかりでした。平成最後のでちこんか、皆さん的心にどんな思い出が刻まれましたか? ▼結婚60年以上の「ダイヤモンド婚」を迎えるご夫婦に対し、お祝い状の贈呈などが行われた「鬼北町社会福祉大会」。私の年齢の2倍以上的人生をともに歩んでこられたお2人を見て、幸せな気持ちになりました。いつまでも仲良くお元気で過ごされることを願っています。(悠)